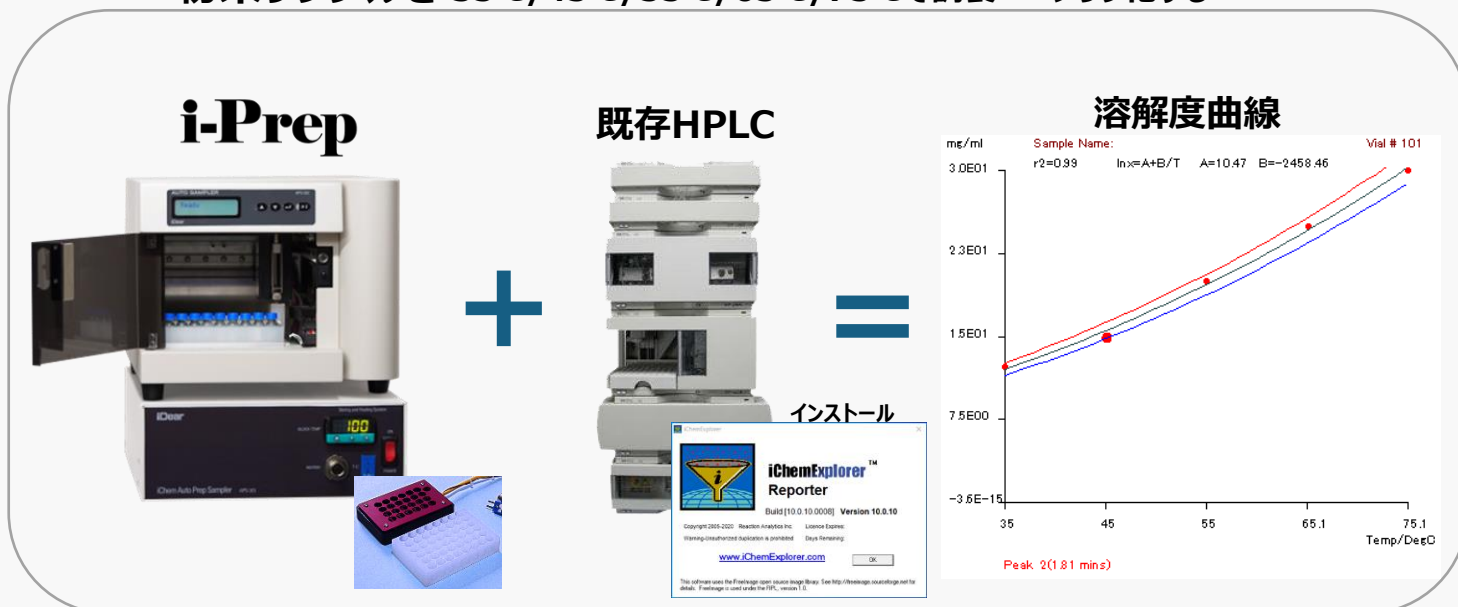


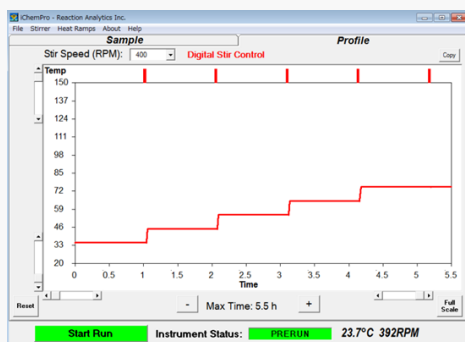
粉末サンプルを 35°C/45°C/55°C/65°C/75°Cで調製 → グラフ化する



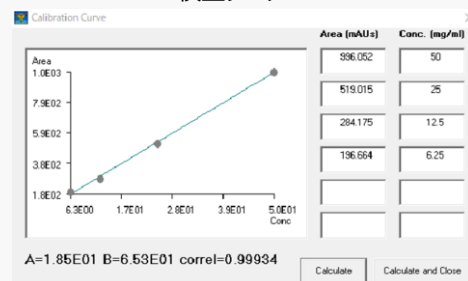
バイアルサンプル前処理装置 **i-Prep** を用い、解熱剤（アセトアミノフェン）の溶解度測定をおこなった。まず、試料をエタノールに飽和状態まで溶解し、4点検量をおこない検量線を作成した。**i-Prep** で容易に調整可能。次に、THOMSON社製フィルターバイアルに粉状サンプルと回転子、精製水を入れ、攪拌しながら5段階温度に加熱、各設定温度到達時より1時間経過後に **i-Prep** でサンプリングした。サンプリング後、**iChemExplorer Reporter** (Reaction Analytics) をインストールしたHPLC (Agilent) でシーケンスを実行し、5点のクロマトグラムを得た。予め取得した検量データとこれら5点のクロマトデータをソフトウェア内で照合（クリック作業）するだけで、y軸が溶解量、ならびにx軸は温度で構成される溶解度曲線（上図）を作成できた。バイアルサンプル前処理装置 **i-Prep** は、試料調製時間と溶媒の節約を可能とし、大型機器を用いないことにより安全性も確保できる。



35°C/45°C/55°C/65°C/75°C
各1時間ごとにサンプリング



検量データ



加熱後の試料は各バイアルにクエンチ（希釈冷却）
調製後はHPLCのオートサンプラーへ移すのみ



アイディア製作所ではマイクロスターラー（回転子）も販売いたします。



攪拌子マイクロ型 Φ2×5mm (フィルター内部用)

攪拌子マイクロ型 Φ2×7mm (バイアル底部用)